

彦春町茜

歴史

(1028) 『エッセイ:』

平忠常の乱

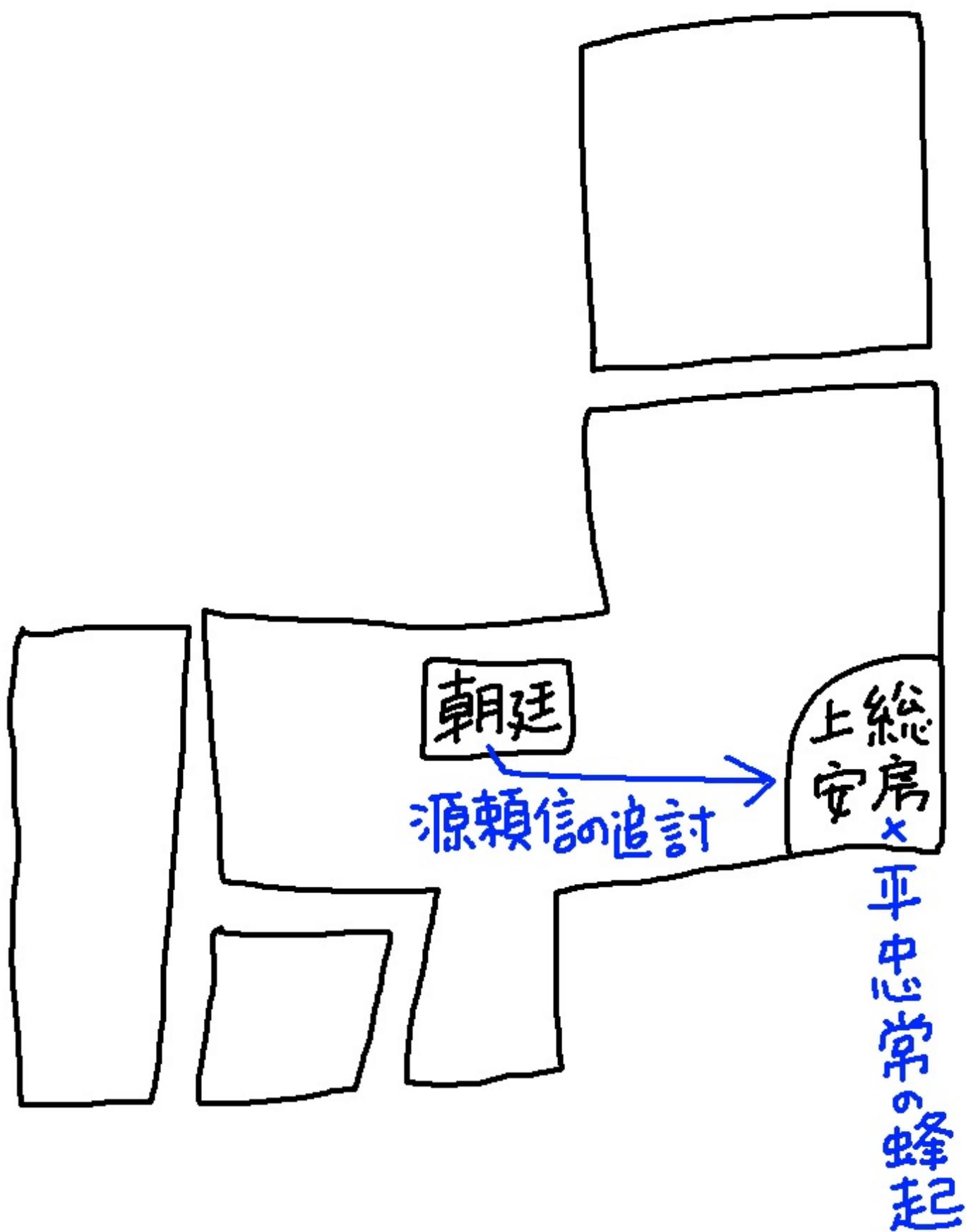
(ベータ版)』

歴史（1028）

『エッセイ：平忠常の乱（ベータ版）』

著者：茜町春彦

概要：大和朝廷の宮廷武官であった源頼信は、どのようにして武家の棟梁となりえたのか？と云う事について解説します。



時系列

平安時代中期

西暦1028年5月頃

地方国衙の重税に耐えかねて、関東の在地武士が平忠常をリーダーとして徒党を組み、安房・上総で武装蜂起する。

西暦1028年7月

大和朝廷は、平忠常の蜂起に驚き、乱鎮圧のために宮廷武官の平直方を追討使に任命する。

西暦1028年8月

平直方が、乱鎮圧のために隋兵をつれて関東へ出発する。直方は、関東に到着するが乱鎮圧の活動はせずに、専ら兵糧米徴収を名目に関東各地で収奪を繰り返し私腹を肥やしていた。

西暦1030年7月

大和朝廷は、平直方の無為無策を知り、追討使を解任する。

西暦1030年9月

大和朝廷は、代りの追討使に宮廷武官の源頼信を任命する。源頼信は、甲斐国に下向して、関東の在地武士と協同して追討を遂行する。

西暦1031年4月

平忠常は、頼信の説得に応じて、降伏する。源頼信は、乱の鎮圧により武名を上げ、関東の在地武士と主従関係を結んだ。

その頃、大和朝廷で実権を握っていたのは、宮廷官僚の藤原道長でした。宮廷官僚は、官職や位階を求める者から賄賂を受け取り、見返りに便宜を図っていました。道長に取り入れた者の中のひとりが、源頼信です。頼信は、道長に賄賂を贈り、各地の受領に任命されました。

受領とは、税金の徴収係のことです。受領に任命されると一族郎党を引き連れて日本各地の任命国へ赴任して、その国内で農場経営をしている在地武士から徴税しました。その時、その税金の一部を自分の懐へ入れて、残りを朝廷へ送ったのです。幾度か受領に任命されると莫大な私財を蓄える事が出来ました。

なぜ、朝廷に徴税権があったのでしょうか。天皇が国王だったからだと思います。歴史用語で云えば公地公民と云う事です。天皇の土地に住んでいるのだから朝廷に税金を払えという理屈です。初めは全員が税金を払っていたのですが、11世紀頃には既に荘園と称する私有地が考え出されていて、荘園の所有者は税金を払いませんでした。これは天皇の土地ではない、つまり個人の所有するものだから税金は払わなくて良いと云う理屈です。個人といっても摂関家のような貴族のことです。それはともかく、公地については朝廷から派遣された受領が在地武士から税金を取り立てていました。

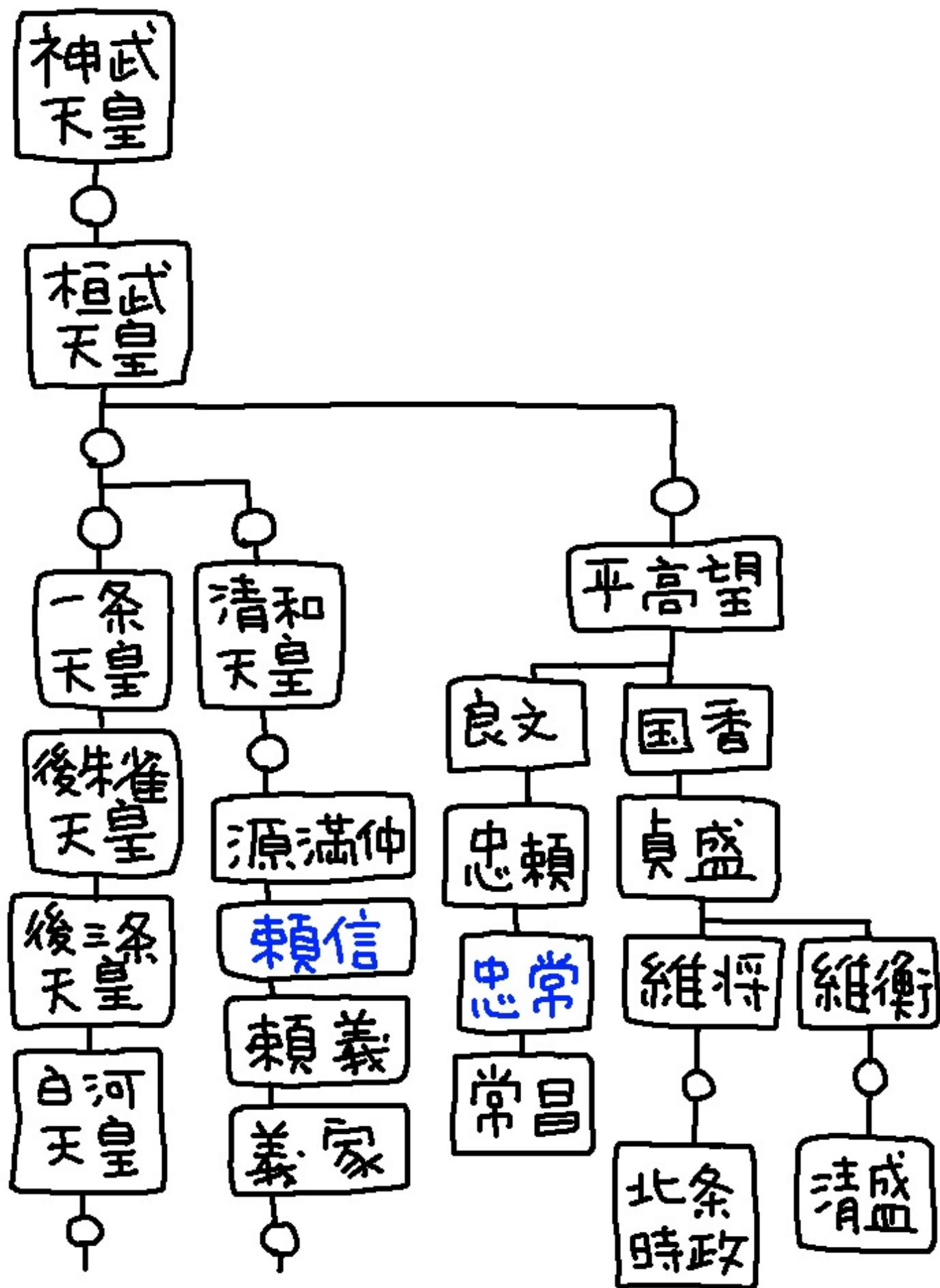
その中でも、安房・上総での徴税は過酷だったのだらうと思います。そして重税に対する不満を持った平忠常たち在地武士が武力闘争を仕掛けたのです。つまり税金の不払い運動です。

税金が入らなければ朝廷の財政は困窮してしまいますので、この様な場合には軍隊を派遣して徴税を行なったのです。その軍事指揮官が追討使です。

初め追討使に任命された平直方は無能だったのですが、次に任命された源頼信は特殊能力を持っていました。交渉力と云う特殊能力を持っていたのだと思います。源頼信は、平忠常と交渉をして反乱軍を無血投降させ、関東に平和を取り戻しました。それを見ていた関東の在地武士は、源頼信を交渉力のある頼りに出来る人物だと認識したのだと思います。

そして多くの関東の在地武士が、源頼信と主従関係を結びました。これには、源頼信の郎党になっておけば、何か問題が起きたときに頼信の庇護を受けられるとの意図があったと思います。つまり在地武士は頼信の後ろ盾を期待したのです。

こうして、畿内の宮廷武官に過ぎなかった源頼信は、関東の在地武士の親分、つまり武家の棟梁となったのです。



後書き

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 武士の成長と院政：2009年3月10日第1刷発行 下向井龍彦著 講談社学術文庫
- 頼朝の天下草創：2009年4月13日第1刷発行 山本幸司著 講談社学術文庫
- 蒙古襲来と徳政令：2009年5月11日第1刷発行 笥雅博著 講談社学術文庫
- 中世社会のはじまり：2016年1月20日第1刷発行 五味文彦著 岩波新書
- 鎌倉幕府と朝廷：2016年5月16日第3刷発行 近藤成一著 岩波新書
- 吾妻鏡（一）：2008年4月4日第9刷発行 龍すすむ著 岩波文庫
- 歴代天皇総覧：2001年11月25日発行 笠原英彦著 中公新書
- 武具の日本史：2010年8月10日初版第1刷 近藤好和著 平凡社新書
- 相模のものゝ心たち：平成21年2月28日第14刷発行 永井路子著 有隣新書
- 北条氏と鎌倉幕府：2011年3月10日第1刷発行 細川重男著 講談社選書メチエ
- 僧兵＝祈りと暴力の力：2010年11月10日第1刷発行 衣川仁著 講談社選書メチエ
- 中世の村のかたちと暮らし：平成20年6月10日初版発行 原田信男著 角川選書
- 天皇はなぜ生き残ったのか：2009年4月20日発行 本郷和人著 新潮新書
- 新・中世王権論：2004年12月10日初版第1刷発行 本郷和人著 新人物往来社

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2017年3月6日発行

歴史（1028）『エッセイ：平忠常の乱（ベータ版）』

<http://p.booklog.jp/book/113512>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/113512>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト